

# 教育大綱に関連する事業の 進捗状況について

令和 6 年 1 月 1 5 日

※本資料は、枚方市教育振興基本計画に係る主要事業の点検及び評価結果を基に作成したものの。



## <重点方針 1 確かな学力の育成>

教

### 1-1 確かな学力の育成

子どもたちにとって、わかる授業や「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業をめざして「授業改善」「家庭学習の充実」に取り組めます。

関連事業名		事業達成度				
		指標	R2	R3	R4	R5
1-①	小中一貫教育推進事業	全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率が、全国平均×1.01 以上。	—	A	A	S
1-②	学校園活性化事業	全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合が、全国平均以上。	—	S	S	/
1-③	枚方市少人数学級充実事業	基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合が、前年度実績以上。	S	A	A	/
1-④	学校ICT機器等整備業務（小中学校教育用ICT機器等整備事業）	教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合が100%。	A	A	A	/
1-⑥	英語教育推進事業	アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（3～6学年）及び生徒（1～3学年）の割合が、小90%以上、中85%以上。	A	A	A	—
1-⑦	読書活動推進事業	全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合が、全国平均以上。	—	A	A	A
2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	水泳授業の委託を行った学校数を、段階的に増加。	/	B	A	A
2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	中学校部活動指導協力者の派遣を、活動回数の上限まで行う。	A	A	A	B
2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	学校支援社会人等指導者を活用を、活動回数の上限まで行う。	B	A	A	B

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【—】達成度の測定不能等 ※R5は9末実績

### 1-2 教員の育成

多分野にわたる研修を実践し、幅広い知識・視野を持ち、子どもたちの多様な価値観を認めることができる教員の育成に取り組めます。

関連事業名		事業達成度				
		指標	R2	R3	R4	R5
1-⑤	多文化共生教育研究事業（多文化共生教育推進事業）	年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数が、前年度実績以上。	B	S	B	/
2-①	人権教育推進研究事業（人権教育推進事業）	大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数が、前年度実績以上。	A	S	A	/
3-①	枚方市教職員育成事業	受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合が100%。	A	A	A	A
3-②	授業の達人養成・教科研究事業	「授業の達人養成講座」の受講者の理解度及び満足度が100%。	A	A	A	/

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【—】達成度の測定不能等 ※R5は9末実績

## <重点方針2 いじめ、不登校の解決>

### 2-1 いじめの防止、早期解決

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、加害者への教育的配慮とともに、被害者の精神的苦痛や不安を克服できるよう、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います。

関連事業名		事業達成度					
		指標					
		R2	R3	R4	R5		
7-④	生徒指導充実事業（枚方市生徒指導体制充実事業）	中学校全体の暴力行為の発生件数が、前年度より10%減。		S	B	S	B
7-⑤	いじめ問題対策事業	いじめの発生年度の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率が100%。		A	A	A	B
7-⑦	教育相談事業	子どもの笑顔守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数が、前年度実績以上。		S	S	A	B
7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	心の教室相談員の小学校1校あたりの平均配置回数が、年間37回。		A	A	A	
7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業	スクールソーシャルワーカー等の活動回数が、当初の予定数以上。		A	A	A	

### 2-2 不登校の防止、早期解決

不登校を未然に防ぐことに力を尽くすとともに、不登校となった際には、市立学校園への復帰以外の選択肢を認めることも含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます。

関連事業名		事業達成度					
		指標					
		R2	R3	R4	R5		
7-⑦	教育相談事業	子どもの笑顔守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数が、前年度実績以上。		S	S	A	B
7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	心の教室相談員の小学校1校あたりの平均配置回数が、年間37回。		A	A	A	
7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業	スクールソーシャルワーカー等の活動回数が、当初の予定数以上。		A	A	A	
7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	市内全小中学校における不登校出現率が、公表されている府の公立小中学校過去5年の不登校出現率の平均以上。		B	B	B	

## <重点方針3 豊かな学びを支える学校園づくり>

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【—】達成度の測定不能等 ※R5は9月末実績

### 3-1 学校園ガバナンスの確立

教育内容や子どもに関わる課題が多様化・複雑化する中、学校園を組織として機能させるため学校園のガバナンスの確立に取り組みます。

関連事業名		事業達成度				
		指標	R2	R3	R4	R5
6-①	コミュニティ・スクール推進事業	アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合が100%。	A	A	A	—

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【—】達成度の測定不能等 ※R5は9月末実績

### 3-2 開かれた学校園運営

学校園への信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力調査の結果だけでなく、いじめや不登校など、子どもの状況を含めた学校情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます。

関連事業名		事業達成度				
		指標	R2	R3	R4	R5
6-①	コミュニティ・スクール推進事業	アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合が100%。	A	A	A	—
6-②	教育委員会広報事務	1か月あたりの平均ブログ閲覧数（全小中学校と委員会）が、前年度実績より5%増。	/	/	S	/
7-⑤	いじめ問題対策事業	いじめの発生年度の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率が100%。	A	A	A	B
7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	市内全小中学校における不登校出現率が、公表されている府の公立小中学校過去5年の不登校出現率の平均以上。	B	B	B	/

### 3-3 学校園の教育環境整備

次代を生き抜く子どもたちの教育環境の質的向上を図るため、ICTの活用を推進するとともに、学校園施設の長寿命化改修や保全的改修に取り組みます。

関連事業名		事業達成度 指標	事業達成度			
			R2	R3	R4	R5
8-①	学校整備・保全事業	枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの改修工事実施箇所（系列）数が、当初の予定数。	A	A	A	B
8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	空調設備の維持管理室数に対しての実施室数が、当初の予定数。	A	A	A	A
1-④	学校ICT機器等整備業務（小中学校教育用ICT機器等整備事業）	教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合が100%。	A	A	A	
8-⑦	樟葉西小学校給食調理場改修事業	改修における対策(6段階)の進捗状況が、当初の予定どおり達成。		A	B	

## <重点方針4 生涯学習との連携>

### 4-1 3間の提供

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。小学校の放課後を、禁止事項をできる限りなくし、子どもたちの自由な空間として開放します。

関連事業名		【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【一】達成度の測定不能等 ※R5は9未実績				
		事業達成度				
		指標	R2	R3	R4	R5
10-⑩	総合型放課後事業	放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会入室児童の割合を増加。				A

### 4-2 社会との関わりの場の提供

職業体験や社会見学、社会人による特別授業とともに、休日における地域防災活動の一翼を担うなど、社会と関わる機会を多く作ります。

関連事業名		【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【一】達成度の測定不能等 ※R5は9未実績				
		事業達成度				
		指標	R2	R3	R4	R5
1-⑧	進路指導等事務	教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、キャリア・パスポートを作成した児童・生徒の割合が、100%。	A	A	A	
2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	学校支援社会人等指導者を活用を、活動回数の上限まで行う。	B	A	A	B
7-①	小学校安全監視事業	児童在校中の小学校への不審者の侵入件数が0件。	A	A	A	

### 4-3 生涯学習の推進

学びの機会の提供や、知の源泉となる図書館の活用、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりなど、人とまちを豊かにする生涯学習を推進し、学びの習慣を育てていくため、生涯学習と学校教育との連携を強化します。

関連事業名		事業達成度 指標	事業達成度			
			R2	R3	R4	R5
9-①	社会教育活動推進事業	社会教育活動推進事業への延べ参加者数が、当初の予定者数以上。	B	A	A	B
9-②	生涯学習事業	生涯学習施策推進アンケートの総設問数に対して、「満足」「概ね満足」と回答した設問数が80%以上。	B	B	B	
9-③	図書館資料購入事務	市民一人あたりの貸出冊数が、平成28年度～平成30年度の実績の平均に2%を乗じた数値以上。	B	S	S	
9-④	分館・分室巡回業務	分館・分室の巡回日数が、当初の予定日数。	S	A	A	
9-⑤	中央図書館運営事業	中央図書館の貸出冊数が、直近3年間の実績値の平均以上。	B	S	S	
9-⑥	図書館分館運営事業	全分館の貸出冊数が、直近3年間の実績値の平均以上。	A	S	S	
9-⑧	障害者利用促進事業	点字・録音図書貸出タイトル数が、直近3年間の実績値の平均以上。	B	A	A	B
9-⑨	電子図書館運営事業	電子書籍貸出冊数及び閲覧回数が、当初の目標値以上。		S	S	B
9-⑩	学校図書館支援事業	市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数が、直近3年間の実績値の平均以上。	S	S	A	B
1-⑦	読書活動推進事業	全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合が、全国平均以上。	—	A	A	A
2-⑭	文化財活用事業	歴史関連イベントの参加者数が、過去のイベント（平成18年～前年）の参加者数の平均値以上。	B	S	S	
2-⑮	野外活動センター利用促進事業	市内小学校のキャンプ利用件数が、昨年度目標値、または直近3年実績値の平均のどちらか多い数値以上。	B	A	A	
10-③	文化芸術創造拠点形成事業	文化事業の参加者へのアンケートの総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数が75%以上。		A	S	—

### 4-3 生涯学習の推進

学びの機会の提供や、知の源泉となる図書館の活用、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりなど、人とまちを豊かにする生涯学習を推進し、学びの習慣を育てていくため、生涯学習と学校教育との連携を強化します。

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【一】達成度の測定不能等 ※R5は9月末実績

関連事業名		事業達成度 指標	事業達成度			
			R2	R3	R4	R5
10-④	文化財保護管理事業	当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合が100%。	A	A	A	
10-⑤	市指定文化財補助事業	市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数が、申請件数となる。	A	A	A	
10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	当該年度の事業進捗割合が100%。	A	A	A	
10-⑦	市史編さん年報発行事務	市史関係の照会および市史資料の利用件数が、直近10年間のうちの、利用件数上位5年の平均値以上。	B	A	B	
10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	各種大会等参加者数が、昨年度目標値または直近3年実績値の平均のどちらか多い数値以上。	B	B	B	B
10-⑨	スポーツ推進事業	スポーツ活動者数が、昨年度目標値または直近3年実績値の平均のどちらか多い数値以上。	B	B	A	

<その他の事業>

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【一】達成度の測定不能等 ※R5は9月末実績

関連事業名		事業達成度	指標			
			R2	R3	R4	R5
1-⑨	学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	放課後自習教室の実施回数が、当初の予定数。	A	A	A	B
2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100%。	A	A	A	
2-⑧	小学校給食事業	小学校給食提供食数（提供できた食数）が、当初の予定回数。	A	A	A	
2-⑨	学校給食における地元農産物利用促進事業	地元農産物の割合（大阪府内産・枚方産の使用割合）が、第3次枚方市食育推進計画の地元農産物使用目標値以上。	A	A	B	
2-⑩	食物アレルギー対応推進事業	アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）が0件。	A	A	A	
2-⑪	学校健康管理事業	学校内科医1人あたりの児童・生徒数が、「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出した数値以下。	A	A	A	
2-⑫	健康診断事業	定期健康診断の受診率が100%。	A	A	A	
2-⑬	中学校給食充実事業	中学校給食の喫食率が50%以上。	B	B	B	B
4-①	支援教育推進事業	支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数が、小・中学校専門家、理学療法士等は予算範囲、リーディングチームは前年度実績の10%増。	B	S	A	B
4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	タクシーを利用した児童・生徒の人数が、年度当初の通学タクシー利用申請人数。	S	S	A	
4-④	就学前支援教育推進事業	保護者のニーズ（申し込み）に対する各支援事業の実施率が100%。	A	A	A	A
5-①	幼児教育充実事業	すべての市立幼稚園において、次の①及び②を達成。①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動を、年間5回以上実施。②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年2回以上開催。	B	B	A	B
5-④	幼稚園保護者支援充実事業（預かり保育事業）	保護者のニーズ（申し込み）に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率が100%。	A	A	A	A
7-②	通学路安全対策事業	交通専従員、交通指導員の配置人数が、前年度実績以下。	A	A	A	

<その他の事業>

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80% 【B】達成度が80%未満 【一】達成度の測定不能等 ※R5は9末実績

関連事業名		事業達成度	事業達成度			
			指標	R2	R3	R4
7-③	小中学校安全対策事業	交通安全教室を全小中学校で実施。	—	B	A	
7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合が100%。	A	A	A	
8-③	学校規模等適正化事業	学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校数が、当初の目標数。	—	—	A	A
8-⑤	校務の情報化推進事業	教員アンケートにおける「出席簿の学期ごとと年度末集計事務に要した合計時間」の1日の平均時間が、1.5時間以内。	A	B	A	
9-⑦	コンピュータシステム運営事業	図書館HPアクセス件数が、直近3年間の実績値の平均以上。	A	S	S	
10-⑪	枚方子どもいきいき広場補助事業	参加した子どもにおける事業の満足度が、80%以上。	—	S	—	

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	39,644
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 (参考指標1) ※(参1)と表記 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査において全国平均を上回る種目数	実績値 [A] (%)	全国学力・学習状況調査中止のため 実績なし  (参1) 未実施	[小学校] 国語: 63.00 算数: 70.00 [中学校] 国語: 63.00 数学: 56.00 (参1) 2種目	[小学校] 国語: 66.00 算数: 64.00 [中学校] 国語: 69.00 数学: 51.00 (参1) 2種目	[小学校] 国語: 67.00 算数: 63.00 [中学校] 国語: 71.00 数学: 53.00 (参1) (R5.12月把握予定)	
(目標値の根拠) 教育大綱に関連する事業の 進捗状況について	目標値 [B] (%)	全国学力・学習状況調査中止のため 実績なし  (参1) 2種目	[小学校] 国語: 64.70 算数: 70.90 [中学校] 国語: 64.60 数学: 57.77 (参1) 2種目	[小学校] 国語: 65.60 算数: 63.83 [中学校] 国語: 69.00 数学: 51.91 (参1) 2種目	[小学校] 国語: 67.20 算数: 63.13 [中学校] 国語: 69.80 数学: 51.51 (参1) (R5.12月把握予定)	
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	全国学力・学習状況調査中止のため 測定不能  (参1) -	[小学校] 国語: 97.37 算数: 98.73 [中学校] 国語: 97.52 数学: 96.94 (参1) 100.00	[小学校] 国語: 100.61 算数: 100.27 [中学校] 国語: 100.00 数学: 98.25 (参1) 100.00	[小学校] 国語: 99.70 算数: 99.79 [中学校] 国語: 101.72 数学: 102.89 (参1) (R5.12月把握予定)	

1-②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	33,753
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合	実績値 [A] (%)	全国学力・学習状況調査中止のため実績なし	小: 88.90 中: 89.50	小: 83.70 中: 86.40		
(目標値の根拠) 全国平均以上	目標値 [B] (%)	全国学力・学習状況調査中止のため実績なし	全国平均 小: 78.80 中: 77.80	全国平均 小: 80.10 中: 78.70		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能	小: 112.82 中: 115.04	小: 104.49 中: 109.78		

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	439,244
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 基礎学力のたしなめテストにおいて到達基準に達した人数の割合 (参考指標1) ※(参1)と表記 学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 (参考指標2) ※(参2)と表記 保護者アンケートにおいて「子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。」と回答した割合	実績値 [A] (%)	88.02  (参1) 43.60 (参2) 88.82	81.54  (参1) 60.65 (参2) 88.29	77.39  (参1) 56.14 (参2) 90.18		
(目標値の根拠) 対前年度比向上  (参考指標1) 対前年度比向上 (参考指標2) 90%以上	目標値 [B] (%)	81.50  (参1) 46.10 (参2) 90.00以上	88.02  (参1) 43.60 (参2) 90.00以上	81.54  (参1) 60.65 (参2) 90.00以上		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	108.00  (参1) 94.57 (参2) 98.68	92.63  (参1) 139.1 (参2) 98.10	94.91  (参1) 89.27 (参2) 100.20		

1-④	学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	788,044
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場を計画して活用することが出来ますか。」に対して肯定的な回答をした割合 ※【】内は全国平均		実績値 [A] (%)	88.40 【85.70】	90.90 【88.20】	89.70 【89.30】	
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	88.40	90.90	89.70	

1-⑤	多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	211
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数		実績値 [A] (人・校)	225	319	225	
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 [B] (人・校)	377	225	319	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	59.68	141.78	70.53	

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	199,862
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童(小学校第3学年～第6学年)及び生徒(中学校第1学年～第3学年)の割合		実績値 [A] (%)	小: 89.84 中: 83.33	小: 88.09 中: 84.05	小: 87.83 中: 80.86	年度末にアンケート実施予定
(目標値の根拠) 児童(小)の満足度90%以上 生徒(中)の満足度85%以上		目標値 [B] (%)	小: 90.00 中: 85.00	小: 90.00 中: 85.00	小: 90.00 中: 85.00	小: 90.00 中: 85.00
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	小: 99.82 中: 98.03	小: 97.88 中: 98.88	小: 97.59 中: 95.13	年度末にアンケート実施予定

1-⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	7,975
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合		実績値 [A] (%)	全国学力・学習状況調査中止のため 実績なし	小：55.60 中：41.20	小：54.90 中：43.60	小：52.20 中：43.00
<b>（目標値の根拠）</b> 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する全国の割合		目標値 [B] (%)	全国学力・学習状況調査中止のため 実績なし	小：61.20 中：50.10	小：59.60 中：48.60	小：60.00 中：49.40
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	全国学力・学習状況調査中止のため 実績なし	小：90.84 中：82.24	小：92.11 中：89.71	小：87.00 中：87.00

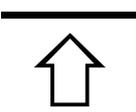
1-⑧	進路指導等事務	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,898
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、キャリア・パスポートを作成した児童・生徒の割合（パスポート作成児童・生徒数／5月1日現在全児童・生徒数）		実績値 [A] (%)	100.00 (30,822/30,822)	100.00 (30,388/30,388)	100.00 (29,906/29,906)	
<b>（目標値の根拠）</b> 児童・生徒全員がキャリア・パスポートを取得すること。		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	

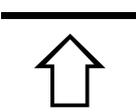
1-⑨	学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	53,805
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 放課後自習教室の実施回数（夏季集中学習教室を除く。） (参考指標1) ※ (参1) と表記 「来年も参加したい」と回答した生徒の割合 (参考指標2) ※ (参2) と表記 実人数（登録者数）		実績値 [A] (回)	1,593  (参1) - (参2) 1,559人	1,593  (参1) 37% (参2) 2,077人	1,593  (参1) 48% (参2) 1,754人	200  (参1) 2月にアンケート実施予定 (参2) 449人
<b>（目標値の根拠）</b> 【R3年度】年間24日（小45校） 27日（中19校）開室 【R4年度】年間24日（小44校） 27日（中19校）開室 【R5年度】年間27日（中19校）開室 (参考指標1) 前年度実績以上 (参考指標2) 前年度実績以上		目標値 [B] (回)	1,593  (参1) - (参2) -	1,593  (参1) - (参2) 1,559人	1,593  (参1) 37% (参2) 2,077人	513  (参1) 46% (参2) 240人
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00  (参1) - (参2) -	100.00  (参1) - (参2) 127.39	100.00  (参1) 129.73 (参2) 84.45	38.98  (参1) - (参2) 187.08%

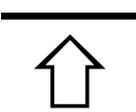
2-①	人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	1,579
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数		実績値 [A] (人)	549	564	486	
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 [B] (人)	577	549	564	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	95.15	102.73	86.17	

2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	5,095
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対して教育指導員が対応可能な言語数の割合(対応可能な言語数/対応を必要とする言語数)		実績値 [A] (%)	100.00 (9/9)	100.00 (8/8)	87.50 (7/8)	
(目標値の根拠) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	87.50	

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	教育政策課 新しい学校推進室 教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	44,135
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 水泳授業の委託を行った学校の数		実績値 [A] (校)		0	6	11
(目標値の根拠) 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。		目標値 [B] (校)		1	6	11
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)		0.00	100.00	100.00

2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額 決算額	16,919
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 中学校部活動指導協力者の派遣回数 （指導協力者の派遣1回につき2時間、教員の負担軽減が図られたとみなす）		実績値 [A] (回)	4,491.5	4,468	4,852	2,828
<b>（目標値の根拠）</b> 派遣回数の上限 ※R2年度より、過去の派遣回数を踏まえ目標値を変更		目標値 [B] (回)	5,320	5,320	5,320	6,650
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	84.43	83.98	91.20	42.53

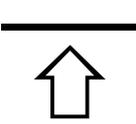
2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	3,890
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 学校支援社会人等指導者を活用した回数		実績値 [A] (回)	1,073.5	1,431	1,654.5	604.5
<b>（目標値の根拠）</b> 活用回数の上限（1校園あたり約22回）		目標値 [B] (回)	1,844	1,761	1,830	1,520
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	58.22	81.26	90.41	39.77

2-⑧	小学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	565,413
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 小学校給食提供食数 （提供できた食数）		実績値 [A] (食)	3,826,491	4,158,584	4,098,819	
<b>（目標値の根拠）</b> 年間の給食提供食数 （年間で提供しなければいけない食数（※学校から提供の報告があった食数）） 給食提供食数/調理食数		目標値 [B] (食)	3,826,491	4,158,584	4,098,819	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	100.00	100.00	100.00	

2-⑨	学校給食における地元農産物利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	—
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 地元農産物の割合 （大阪府内産・枚方産の使用割合）		実績値 [A] （%）	33.30	33.90	9.00	/
<b>（目標値の根拠）</b> 第3次枚方市食育推進計画の地元農産物使用目標値		目標値 [B] （%）	38.00	38.00	38.00	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B （小数第三位を四捨五入）	87.63	89.21	23.69	

2-⑩	食物アレルギー対応推進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	—
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）件数		実績値 [A] （件）	0	0	0	/
<b>（目標値の根拠）</b> アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）がないこと		目標値 [B] （件）	0	0	0	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00	

2-⑪	学校健康管理事業	担当課	学校支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,556
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 学校内科医1人あたりの児童・生徒数		実績値 [A] （人）	305	309	328	/
<b>（目標値の根拠）</b> 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		目標値 [B] （人）	330	330	330	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※□ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B （小数第三位を四捨五入）	107.58	106.36	100.61	

2-⑫	健康診断事業	担当課	学校支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	38,666
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 健康診断受診率 定期健康診断の受診率（受診者数/対象者数×100）		実績値 [A] (%)	99.92	99.55	99.99	
<b>（目標値の根拠）</b> 対象者全員		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	99.92	99.55	99.99	

2-⑬	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	356,916
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 中学校給食の喫食率		実績値 [A] (%)	33.80	35.10	35.20	37.40
<b>（目標値の根拠）</b> 中学校給食の各年度目標喫食率		目標値 [B] (%)	50.00	50.00	50.00	50.00
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	67.60	70.20	70.40	74.80

2-⑭	文化財活用事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,309
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 歴史関連イベントの参加者数		実績値 [A] (人)	281	1,649	1,916	
<b>（目標値の根拠）</b> 過去のイベント（平成18年～前年）の参加者数の平均値を目標値とする（事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた）		目標値 [B] (人)	1,280	1,188	1,216	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	21.95	138.80	157.56	

2-⑮	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	3,913
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 市内小学校のキャンプ利用件数		実績値 [A] (件)	17	22	22	/
<b>（目標値の根拠）</b> 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均の どちらか多い数		目標値 [B] (件)	25	25	25	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	68.00	88.00	88.00	

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	7,464
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合		実績値 [A] (%)	92.45	96.70	95.00	95.80
<b>（目標値の根拠）</b> 研修の実質的效果		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	100.00
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	92.45	96.70	95.00	95.80

3-②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	350
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 「授業の達人養成講座」の受講者の①理解度 ②満足度		実績値 [A] (%)	①理解度 98.20 ②満足度 96.40	①理解度 100.00 ②満足度 97.50	①理解度 100.00 ②満足度 100.00	/
<b>（目標値の根拠）</b> 「授業の達人養成講座」の受講者の理解度と満足度		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	①理解度 98.20 ②満足度 96.40	①理解度 100.00 ②満足度 97.50	①理解度 100.00 ②満足度 100.00	

4-①	支援教育推進事業	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	305,631
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数		実績値 [A] (回)	107	117	117	47
<b>（目標値の根拠）</b> 小・中学校専門家、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。		目標値 [B] (回)	166	104	118	120
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	64.46	112.50	99.15	39.16

4-②	通学困難児童・生徒通学等 タクシー支援事業	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,000
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> タクシーを利用した児童・生徒の人数		実績値 [A] (人)	36	36	25	
<b>（目標値の根拠）</b> 年度当初の通学タクシー利用申請人数		目標値 [B] (人)	31	29	29	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	116.13	124.14	86.21	

4-④	就学前支援教育推進事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	5,331
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 保護者のニーズ（申し込み）に対する各支援事業の実施率		実績値 [A] (%)	100.00	100.00	100.00	100.00
<b>（目標値の根拠）</b> ニーズ（申し込み）に対する実施率100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	100.00
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	100.00

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	588
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動（学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など）を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する		実績値 [A] (園)	6	7	12	9
<b>（目標値の根拠）</b> すべての市立幼稚園において①及び②を達成する（すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は6園×2=12となる）		目標値 [B] (園)	14	12	12	12
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>□</sup> ならC=A÷B ※ <sup>◇</sup> ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	42.86	58.33	100.00	75.00

5-④	幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	52,950
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 保護者のニーズ（申し込み）に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率		実績値 [A] (%)	100.00	100.00	100.00	100.00
<b>（目標値の根拠）</b> ニーズ（申し込み）に対する実施率100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	100.00
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>□</sup> ならC=A÷B ※ <sup>◇</sup> ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	100.00

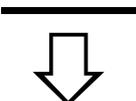
6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	3,080
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合		実績値 [A] (%)	89.00	96.00	100.00	年度末実施予定
<b>（目標値の根拠）</b> 肯定的回答の割合100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	100.00
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>□</sup> ならC=A÷B ※ <sup>◇</sup> ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	99.00	96.00	100.00	年度末実施予定

6-②	教育委員会広報事務	担当課	教育政策課 教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,294
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 1か月あたりの平均ブログ閲覧数（全小中学校と委員会）		実績値 [A] (件)			193,640	
<b>（目標値の根拠）</b> 前年度実績からの5%増（アクセス数を増加させることで、開かれた学校づくりを推進するもの）。 ただし、令和4年度は学校当たり月3,000件のアクセス数を見込み3,000件×64か所=192,000件とする。		目標値 [B] (件)			192,000	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)			100.85	

7-①	小学校安全監視事業	担当課	新しい学校推進室	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	34,393
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数		実績値 [A] (件)	0	0	0	
<b>（目標値の根拠）</b> 全小学校の侵入事案なし		目標値 [B] (件)	0	0	0	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	

7-②	通学路安全対策事業	担当課	新しい学校推進室	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	22,999
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 交通専従員、交通指導員の配置人数（信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する）		実績値 [A] (人)	59	59	60	
<b>（目標値の根拠）</b> 前年度実績		目標値 [B] (人)	59	59	59	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	98.31	

7-③	小中学校安全対策事業	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	4,077
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 小中学校における交通安全教室の実施回数		実績値 [A] (校)	臨時休校に伴う授業 時数確保のため中止	76	107	/
<b>(目標値の根拠)</b> 全中学校（19回）、小学校歩行交通安全教室（44校）自転車交通安全教室（44回）		目標値 [B] (校)	109	109	107	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	測定不能	69.72	100.00	

7-④	生徒指導充実事業（枚方市 生徒指導体制充実事業）	担当課	教職員課 児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	63,405
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 中学校全体の暴力行為の発生件数  (参考指標1) ※(参1) と表記 小学校全体の暴力行為の発生件数		実績値 [A] (件)	40  (参1) 84	82  (参1) 93	36  (参1) 93	41 ※1学期末時点 (参1) 35
<b>(目標値の根拠)</b> 暴力行為発生件数が前年度より10%減少  (参考指標1) 暴力行為発生件数が前年度より10%減少		目標値 [B] (件)	46  (参1) 77	36  (参1) 76	74  (参1) 84	32  (参1) 93
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	113.04  (参1) 90.91	0.00  (参1) 0.00	151.35  (参1) 89.29	71.88  (参1) 162.37

7-⑤	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	970
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> いじめの発生年度の次年度の6月末時点の 認知したいじめの解消率（解消件数/認知 件数） 【】内は、令和5年6月末時点の解消率		実績値 [A] (%)	小 98.94(651/658) 【98.94(657/658)】  中 97.42(264/271) 【97.42(266/271)】	小 98.78(1,294/1,310) 【98.78(1,294/1,310)】  中 95.74(292/305) 【95.74(292/305)】	小 99.08(2,699/2,724)  中 94.29(463/491)	小 2.68(36/1,342)  中 6.14(26/423) ※1学期末時点
<b>(目標値の根拠)</b> 年度内に小・中学校において認知したい じめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差 はあるが、ここでは小・中学校合わせた解 消率とする。		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	100.00
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	小 98.94 中 97.42	小 98.78 中 95.74	小 99.08 中 94.29	小 2.68 中 6.14 ※1学期末時点

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合 （派遣件数/派遣要請件数）		実績値 [A] （%）	100.00（18/18）	100.00（17/17）	100.00（11/11）	
<b>（目標値の根拠）</b> 派遣要請に対して、実際に派遣した割合		目標値 [B] （%）	100.00	100.00	100.00	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00	

7-⑦	教育相談事業	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	9,655
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 電話、来館による年間相談延べ件数（子どもの笑顔を守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数）		実績値 [A] （件）	1,865	2,268	2,009	995
<b>（目標値の根拠）</b> 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績		目標値 [B] （件）	1,840	1,865	2,268	2,009
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	101.36	121.61	88.58	49.52

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	担当課	児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	8,385
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 心の教室相談員の年間総配置回数		実績値 [A] （回）	1,581	1,657	1,622	
<b>（目標値の根拠）</b> 小学校1校あたりの平均配置回数を37回		目標値 [B] （回）	1,665	1,665	1,628	
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	94.95	99.52	99.63	

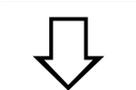
7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーカー事業	担当課	子ども相談課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	57,228
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) スクールソーシャルワーカー等の活動回数		実績値 [A] (回)	467	957	999	
(目標値の根拠) 【R3年度】 432回 (SSW3人×週3日×48週) 576回 (SSW3人×週4日×48週) 【R4年度】 288回 (SSW2人×週3日×48週) 768回 (SSW4人×週4日×48週) 【R5年度】 144回 (SSW1人×週3日×48週) 1152回 (SSW6人×週4日×48週)		目標値 [B] (回)	507	1,008	1,056	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	92.11	94.94	94.60	

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	14,109
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 市内全小中学校における不登校出現率(5月1日現在の全小中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上の子の合計)		実績値 [A] (%)	中 4.75 小 1.04	中 5.79 小 1.39	中 6.35 小 1.81	
(目標値の根拠) 公表されている府の公立小中学校過去5年の不登校出現率の平均		目標値 [B] (%)	中 3.97 小 0.61	中 3.74 小 0.62	中 3.92 小 0.74	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	中 80.35 小 29.51	中 45.19 小 0.00	中 38.01 小 0.00	

8-①	学校整備・保全事業	担当課	施設計画課・建築課 設備課・施設管理課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	4,468,441 (内R4から繰越3,785,692)
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
(実績値の内容) 枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの改修工事実施箇所(系列)数		実績値 [A] (件)	8	32	31	4
(目標値の根拠) 枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの計画対象箇所(系列)数		目標値 [B] (件)	10	32	31	35
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	80.00	100.00	100.00	11.43

8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	担当課	施設計画課 設備課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	1,518,892 (内R4から繰越867,871)
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 空調設備の維持管理室数に対するの実施室数		実績値 [A] (室)	2,521	2,521	2,495	2,504
<b>(目標値の根拠)</b> 小中学校における空調設備の維持管理室数		目標値 [B] (室)	2,521	2,521	2,495	2,504
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>□</sup> ならC=A÷B ※ <sup>○</sup> ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	100.00

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	新しい学校推進室	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,026
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校		実績値 [A] (校)	0	0	1	1
<b>(目標値の根拠)</b> 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校		目標値 [B] (校)	0	0	1	1
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>□</sup> ならC=A÷B ※ <sup>○</sup> ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	-	-	100.00	100.00

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	38,014
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 教員アンケートにおける「出席簿の学期ごとと年度末集計事務に要した合計時間」の1日の平均時間		実績値 [A] (時間)	1.66	1.93	1.75	
<b>(目標値の根拠)</b> 1.5時間以内（学校の放課後時間内（15:30～17:00））に完了することをめざすもの		目標値 [B] (時間)	1.50	1.50	1.50	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>□</sup> ならC=A÷B ※ <sup>○</sup> ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	89.33	71.33	83.33	

8-⑦	樟葉西小学校給食調理場改修事業	担当課	おいしい給食課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	212,700 (内R4から繰越104,000)
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
<b>(実績値の内容)</b> 改修における対策(6段階)の進捗状況 (①設計・②仮配膳室設置・③解体・④建築・⑤備品整備・⑥仮配膳室撤去)		実績値[A] (段階)		1(指標①)	0	
<b>(目標値の根拠)</b> 改修完了までに実施すべき対策の段階(6段階)		目標値[B] (段階)		1(指標①)	2.5(指標②③④)	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度[C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)		100.00	0.00	

9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	6,225
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
<b>(実績値の内容)</b> 社会教育活動推進事業への延べ参加者数		実績値[A] (人)	1,940	2,379	3,375	1,811
<b>(目標値の根拠)</b> 新型コロナウイルス感染症の感染状況の動向が不透明であるものの、令和2年度に落ち込んだ実績を毎年730人ずつ増加させ、令和5年度までの3年間でこれまでの目標値を達成する。 【令和2年度までの目標値】「よみかき」等については平成27年度から令和元年度までの延べ参加者数の平均、その他の事業については募集人数の80%		目標値[B] (人)	4,130	2,670	3,400	4,130
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度[C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	46.97	89.10	99.26	43.85

9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	18,703
					決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(9末時点)
<b>(実績値の内容)</b> 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 (「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数) ※総設問数=アンケート回答者数×設問数		実績値[A] (%)	51.99 (1,268/2,439)	51.48 (1,325/2,574)	51.04 (2,090/4,095)	
<b>(目標値の根拠)</b> 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した設問数が80%		目標値[B] (%)	80.00	80.00	80.00	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度[C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	64.99	64.35	63.80	

9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	80,000
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 市民一人あたりの貸出冊数		実績値 [A] (冊)	6.70	9.69	12.08	
<b>(目標値の根拠)</b> 平成28年度～平成30年度の実績の平均に 2%を乗じた数値		目標値 [B] (冊)	8.70	8.70	8.70	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	77.01	111.37	124.54	

9-④	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	12,864
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 分館・分室の巡回日数		実績値 [A] (件)	502	501	503	
<b>(目標値の根拠)</b> 年度当初に予定していた年間巡回日数		目標値 [B] (件)	499	501	503	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.60	100.00	100.00	

9-⑤	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	70,035
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 中央図書館の貸出冊数		実績値 [A] (冊)	499,053	764,594	721,508	
<b>(目標値の根拠)</b> 直近3年間の実績値の平均		目標値 [B] (冊)	867,418	745,016	699,532	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	57.53	102.63	103.14	

9-⑥	図書館分館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	393,734
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 全分館の貸出冊数		実績値 [A] (冊)	1,743,806	2,586,621	3,422,068	
<b>(目標値の根拠)</b> 直近3年間の実績値の平均		目標値 [B] (冊)	1,976,130	1,874,352	2,091,090	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	88.24	138.00	163.65	

9-⑦	コンピュータシステム運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	30,644
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 図書館HPアクセス件数		実績値 [A] (件)	1,227,758	1,468,970	7,512,392	
<b>(目標値の根拠)</b> 直近3年間の実績値の平均 ※R1年度のみ、図書館システム更新に伴い、H28年度実績が算出不能のため、直近2年間の実績値の平均を用いる		目標値 [B] (件)	1,484,490	1,287,244	1,385,867	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	82.71	114.12	542.07	

9-⑧	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	1,299
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>(実績値の内容)</b> 点字・録音図書貸出タイトル数		実績値 [A] (タイトル)	3,455	3,157	2,889	1,404
<b>(目標値の根拠)</b> 直近3年間の実績値の平均		目標値 [B] (タイトル)	4,602	3,606	3,167	2,483
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	75.08	87.55	91.22	56.54

9-⑨	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	31,056
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> ①電子書籍貸出冊数 ②閲覧回数（回）		実績値 [A] （冊）		①17,860 ②38,869	①31,823 ②79,547	①20,355 ②50,757
<b>（目標値の根拠）</b> 【R3年度】新規事業のため、所蔵冊数すべてを少なくとも1回は貸し出す、または閲覧するものとして設定 【R4年度】R3年度の実績（7月導入のため9か月分）を12か月分で換算した実績 【R5年度】直近2か年の平均値（R3を12か月換算）		目標値 [B] （冊）		①6,500 ②6,500	①23,813 ②51,825	①27,818 ②65,686
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)		①274.77 ②597.98	①133.64 ②153.49	①73.17 ②77.27

9-⑩	学校図書館支援事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	10,359
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数		実績値 [A] （冊）	22.29	23.72	22.02	10.60
<b>（目標値の根拠）</b> 直近3年間の実績の平均 ※R1年度のみ、図書館システム更新に伴い、H28年度実績が算出不能のため、直近2年間の実績値の平均を用いる		目標値 [B] （冊）	20.73	21.59	22.34	22.68
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	107.53	109.87	98.57	46.73

10-③	文化芸術創造拠点形成事業	担当課	文化生涯学習課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	33,015
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）
<b>（実績値の内容）</b> 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合 【R3年度】「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数 【R4年度】（「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数/アンケート回答者数）×1割 ※各事業のアンケート回答者数の約1割を抜粋し		実績値 [A] （%）		73.13 (2,251/3,078)	95.21 (936/983)	年度末に集計予定
<b>（目標値の根拠）</b> 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数が75%		目標値 [B] （%）		75.00	75.00	75.00
<b>（目指すべき方向）</b> 		達成度 [C] （%）  ※0ならC=A÷B ※0ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)		97.51	126.95	年度末に集計予定

10-④	文化財保護管理事業	担当課	文化財課			事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	37,125
							決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）		
<b>(実績値の内容)</b> 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合		実績値 [A] (%)	100.00	100.00	100.00	/		
<b>(目標値の根拠)</b> 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00			
<b>(目指すべき方向)</b> <hr style="width: 50px; margin-left: 0;"/>		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	100.00	100.00	100.00			

10-⑤	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課			事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	340
							決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）		
<b>(実績値の内容)</b> 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数		実績値 [A] (件)	14	14	14	/		
<b>(目標値の根拠)</b> 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数		目標値 [B] (件)	14	14	14			
<b>(目指すべき方向)</b> <hr style="width: 50px; margin-left: 0;"/>		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	100.00	100.00	100.00			

10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	担当課	文化財課			事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	186,513
							決算額	
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）		
<b>(実績値の内容)</b> 当該年度の事業進捗割合		実績値 [A] (%)	100.00	100.00	95.00	/		
<b>(目標値の根拠)</b> 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00			
<b>(目指すべき方向)</b> <hr style="width: 50px; margin-left: 0;"/>		達成度 [C] (%)  <small>※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	100.00	100.00	100.00			

10-⑦	市史編さん年報発行事務	担当課	文化財課		事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	2,207
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）	
<b>(実績値の内容)</b> 市史関係の照会および市史資料の利用件数		実績値 [A] (件)	219	269	224	/	
<b>(目標値の根拠)</b> 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値		目標値 [B] (件)	317	317	300		
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	69.09	84.86	74.67		

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課		事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	43,896
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）	
<b>(実績値の内容)</b> 各種大会等参加者数		実績値 [A] (人)	5,800	11,118	15,464	/	
<b>(目標値の根拠)</b> 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 [B] (人)	24,918	24,918	24,918		
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	23.28	44.61	62.06		

10-⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課		事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 決算額	10
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）	
<b>(実績値の内容)</b> スポーツ活動者数 (競技大会等のスポーツイベントの参加者数及びスポーツ施設の利用者数)		実績値 [A] (人)	582,169	803,193	1,006,818	/	
<b>(目標値の根拠)</b> 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 [B] (人)	1,150,649	1,150,649	1,150,649		
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※〇ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	50.60	69.80	87.50		

10-⑩	総合型放課後事業	担当課	放課後子ども課			事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	930,355
						決算額		
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）		
<b>(実績値の内容)</b> 全児童に対する放課後の児童の居場所（放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会入室児童）の割合		実績値 [A] (%)					18.53	
<b>(目標値の根拠)</b> 児童たちの放課後の居場所として利用することができる		目標値 [B] (%)					20.00	
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)					92.65	

10-⑪	枚方子どもいきいき広場補助事業	担当課	放課後子ども課			事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	31,212
						決算額		
指標			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（9末時点）		
<b>(実績値の内容)</b> 参加した子どもにおける事業の満足度 (算出式：満足度の高いアンケート回答者数/アンケート回答者数)		実績値 [A] (%)	アンケート調査未実施のため 実績なし	88.40	アンケート調査未実施のため 実績なし			
<b>(目標値の根拠)</b> 参加した子どもにおける事業の満足度		目標値 [B] (%)	80.00	80.00	80.00			
<b>(目指すべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	アンケート調査未実施のため 測定不能	110.50	アンケート調査未実施のため 測定不能			